やる気発生装置

教室通信 Vol.３６１
Ｈ２６．１０．１４
個別指導教室
セカンド・キャンパス
０７５－７１１－０３９９
http://www.second-campus.com/

得点力をつけたい人に！過去問演習のすすめ

当教室では１０月の定期試験シーズンが一巡し、あとは今週、高校２校のテストを残すのみとなりました。台風とともに去っていった３連休をどれくらい有意義に使えたかは人それぞれと思いますが、これは頑張ったぞ、といえるものが何かあることだろう。そこで得た自信を胸に、次なる戦いに向かっていってください。また、テスト結果のふり返りが次、１１月～１２月にさっそく控えている次回のテスト対策に直結しますので、答案用紙が返ってきた人は、問題と一緒に必ず教室に持ってきてくださいね。

受験生のみならず全ての学年に言えることですが、入試問題、模試、定期テスト、どの試験においても、過去にどんな問題が出題されたかを知り、それをやってみることで、手応え、期待できる得点、自分の弱点、時間配分などを把握することがひじょうに大切だ。教室でも、君達や先輩たちの協力のもとに、まだまだ完全とはいえないけれども、これまでに出題されたありとあらゆるテスト問題を収集しているから、そういった過去問対策をする機会は多い。過去問の具体的な活用法は、次の２つを組み合わせていくのがお薦めです。

（Ａ）解答を見たり質問をしたりせず、自分の力でできるだけ本番通りの条件で解く。得点率を調べ、間違えた問題を補強する。

（Ｂ）解答を見たり先生に聞いたりしながら解き方を身につけ、同じ問題を自力で解けるように理解した後、もう一度やってみる。

得意教科や一通りの学習を終えた教科の仕上げには（Ａ）が、自信のない教科、テスト直前でとにかく間に合わせたい教科には（Ｂ）が有効です。これは、過去問をやってもらっている僕にとって反省すべき点でもあるのですが、とりあえず解き初めてわからない問題があれば質問をする、今自力で解ける問題がどれでどの問題が要チェックなのかはっきりしない、というのが一番効果が薄い。（Ａ）（Ｂ）どちらの姿勢で演習をするのかを明確にして演習をし、そこで見つかった課題は確実に補強しておく、ということを心がけたいと思います。

定期テスト対策にしても、以前出題された問題をやると何割くらい取れるか把握した上で、そこで解けなかった問題を確実にやり込んでいる人はやっぱり本番での安定感が違います。受験生には、本番で何点くらい取れば志望校合格に結びつくのか、そして今の自分は何点くらい取る力があるのか、ということを意識しながら、これからの時期、過去問演習にも積極的に取り組んでいってもらいます。

１２日日曜には、中３世の１０月模試を実施しました。また一歩、本番を戦える受験生に近づいていく。

受験生に限りませんが、勉学にふさわしいこれからの季節、さらに実戦的練習に取り組んでもらいます。

当面の教室予定

10/14（火）～10/17（金）
１６：００～２２：００
10/18（土）
１８：００～２２：００
10/19（日）
１６：００～２２：００
10/20（月）～10/24（金）
１６：００～２２：００
※変更する場合があります。

■来週１０/２１（火）には、京都学園高校の先生にお越し頂き、私立高校の様子や入試等について話していただく予定です。通常の説明会では聞けないようなココだけのお話を色々と聞けるはずです。お楽しみに！

明日１０／１５（水）のテスト

学校/学年		教科
大谷	1	数学ⅠA/生物基礎
山城	1	英Ⅰ/国語総合